




SMART SOUNDBAR 300

安全およびセキュリティ上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

CE Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

安全上の留意項目

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要なときにご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用して行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
10.  メーカーが指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、または台のみをご使用ください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないように十分注意してください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

警告/注意



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。



電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。この製品に付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻なやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。電池はお子様の手の届かないところに保管してください。電池ケースがきちんと閉まらない場合は、リモコンの使用をやめてお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体の中に入ってしまったと思ったら、すぐに医師の診断を受けてください。電池を交換する際は、破裂や発火、やけどなどの危険がないように慎重に行ってください。3Vリチウムボタン電池のCR2032またはDL2032に交換してください。使用済みの電池は速やかに適切に処分してください。また、分解や充電、焼却を行ったり、100°C以上の熱を与えたりしないでください。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。
- インバータ電源は使用しないでください。
- この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。
- 万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。



標高2000mを超える高地での使用には適していません。

- 本製品を壁掛け設置するには、次の金具のみを使用してください: Bose Soundbar Wall Bracket
- 壁面の強度が十分でない場合や、壁の裏側に電線や配管などがある場合は、ブラケットを使用しないでください。ブラケットの取り付け方法がわからない場合は、専門業者に作業を依頼してください。壁掛けブラケットを取り付ける際は、建築関連法規に従ってください。
- 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- 暖炉、ラジエーター、暖房送風口、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くにブラケットを取り付けたり、本製品を設置したりしないでください。
- 製品ラベルはサウンドバーの背面にあります。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示通りに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本機と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダイノバージョン・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

本機は、ラジエーターと身体の間を20cm以上離して設置して動作させる必要があります。

5150 ~ 5250MHzを使用するこのデバイスは、同一チャンネルの他の移動体衛星システムへの有害な干渉の恐れを低減するため、屋内専用です。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECに従い、以下の基準または文書に準拠しています: Regulation (EC) No. 1275/2008、改正版Regulation (EU) No. 801/2013

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ	ネットワーク待機
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	< 0.5W	Wi-Fi [®] 、Bluetooth [®] < 2.0 W
機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間	< 2.5時間	≤ 20分
すべての有線ネットワークポートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合の、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	N/A	< 2.0W
ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	<p>Wi-Fi[®]: 無効化するには、サウンドバーのライトバーが白で2回点滅してから次第に消灯するまで、リモコンのミュートボタンとBluetooth[®] ボタンを同時に長押しします。再度有効化するには、もう一度長押しします。</p> <p>Bluetooth[®]: 無効化するには、リモコンのBluetooth[®] ボタンを10秒間長押しして、ペアリングリストを消去します。有効化するには、Bluetooth[®] ソース機器とペアリングします。</p>	


ヨーロッパ向け:


運用周波数 2400 ~ 2483.5 MHz、5150 ~ 5350 MHz、および 5470 ~ 5725 MHz

最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

最大送信出力が規制値を下回っているため、SARテストは不要で、適用される規制ごとに免除されます。

このデバイスを 5150 ~ 5350 MHz の周波数範囲で運用する場合、表に記載されているすべての EU 加盟国で屋内使用に限定されています。

									
BE	DK	IE	UK	FR	CY	SK	HU	AT	SE
BG	DE	PT	EL	HR	LV	LT	MT	PL	
CZ	EE	FI	ES	IT	RO	LU	NL	SI	

 この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスの管理規制


第12条

「低電力無線デバイスの管理規制」により、会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。

第14条


低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまでただちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信法に基づいて運用される無線通信を意味します。

低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

 使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。

廢電池請回収

中国における有害物質の使用制限表

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
	有毒/有害物質および成分					
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	0	0	0	0	0
金属パーツ	X	0	0	0	0	0
プラスチックパーツ	0	0	0	0	0	0
スピーカー	X	0	0	0	0	0
ケーブル	X	0	0	0	0	0
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。						
0: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。						
X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

台湾における有害物質の使用制限表

機器名: Powered Speaker、型式: 432552						
制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr+6)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチック パーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○

注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。
注2:「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「0」は2010年または2020年です。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plant 9, No. 353 North Riyang Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

EUにおける輸入元: Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

台湾における輸入元: Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No. 10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan
 Phone Number: +886-2-2514 7676

メキシコにおける輸入元: Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F. Phone Number: +5255 (5202) 3545

入力定格: 100 ~ 240V ~ 50/60Hz、100W

CMII IDはサウンドバー背面の製品ラベルに記載されています。

カリフォルニア州: 過塩素酸塩素材を含むリチウムイオン電池が含まれています。特別な取り扱いが適用される場合があります。www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorateを参照してください。

製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、サウンドバーの背面に記載されています。

シリアル番号: _____

モデル番号: _____

この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをお勧めします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。

セキュリティ情報



この製品は、Boseから自動セキュリティアップデートを受信することができます。自動セキュリティアップデートを受信するには、Bose Musicアプリで製品のセットアップを完了し、製品をインターネットに接続する必要があります。**セットアップを完了しない場合は、Boseが公開するセキュリティアップデートをお客様ご自身でインストールする必要があります。**

Amazon、Alexa、Amazon Musicおよびそれらに関連するすべてのロゴは、Amazon, Inc. またはその関連会社の商標です。

Apple、Appleのロゴ、AirPlay、およびApple MusicはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Works with Appleバッジの使用は、アクセサリーがバッジに記載されている技術に対応するよう専用設計され、Apple社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

 **DOLBY AUDIO** この製品はDolby Laboratoriesのライセンスに基づいて製造されています。Dolby、Dolby Audio、およびダブルDマークはDolby Laboratoriesの商標です。

GoogleおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。

 **HDMI** HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIのロゴはHDMI Licensing Administrator, Inc.の米国および他の国々における商標または登録商標です。

この製品はiHeartRadioサービスに対応しています。iHeartRadioはiHeartMedia, Inc.の登録商標です。

この製品はMicrosoftの特定の知的財産権によって保護されています。Microsoftから使用許諾を受けずに、保護対象の技術をこの製品以外で使用または配布することは禁じられています。

PandoraはPandora Media, Inc.の商標または登録商標であり、許可を得て使用しています。

この製品にはSpotifyソフトウェアが組み込まれており、次のサイトに掲載されたサードパーティのライセンスが適用されます：www.spotify.com/connect/third-party-licenses

SpotifyはSpotify ABの登録商標です。

この製品は、Universal Electronics Inc.のライセンスに基づき、設計されています。© UEI 2000-2020

Wi-FiはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

Acoustimass、Bose、Bose Bass Module、Bose Music、Bose Noise Cancelling Headphones、Bose Smart Soundbar、Bose Soundbar Wall Bracket、Bose Surround Speakers、SimpleSync、SoundLink、SoundLink Revolve、Virtually Invisible、およびVoice4VideoはBose Corporationの商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2020 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

Bose Smart Soundbar 300の製品コンポーネントとして含まれるサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、次の手順を実行します。

1. リモコンの再生/一時停止ボタン▶||と音量+ボタン+を同時に5秒間長押しします。
2. Micro-USBケーブルをサウンドバーの背面にあるSERVICE端子に接続します。
3. ケーブルのもう一方をパソコンに接続します。
4. パソコンのブラウザーウィンドウに「<http://203.0.113.1/opensource>」と入力して、エンドユーザー使用許諾契約書(「EULA」)とライセンス開示情報を表示します。

内容物の確認

内容物	12
-----------	----

サウンドバーの設置

推奨事項	13
サウンドバーを壁に取り付ける	14
壁に取り付けた状態で音響特性を調整する	14

電源

サウンドバーを電源に接続する	15
ネットワーク待機状態	15

BOSE MUSICアプリのセットアップ

Bose Musicアプリをダウンロードする	16
------------------------------	----

BOSE MUSICアプリを既にお使いのユーザー

既存のアカウントにサウンドバーを追加する	17
別のWi-Fi®ネットワークに接続する	17

サウンドバーの操作

リモコンの機能	18
電源オン/オフ	19
ソース機器	20
メディアの再生と音量調節	21
音声アシスタントの操作	22
低音を調整する	22
ダイアログモード	22
他社製リモコンをプログラムする	23

音声アシスタント

音声アシスタントのオプション	24
音声アシスタントのセットアップ	24
Googleアシスタントにアクセスする	25
音声で操作する	25
サウンドバーの操作ボタンを使用する	26
Googleアシスタントで音楽を再生する	27
デフォルトの音楽サービスを選択する	27
Amazon Alexaにアクセスする	28
音声で操作する	28
サウンドバーの操作ボタンを使用する	29
Voice4Videoでオーディオをコントロールする	30
Voice4Videoをセットアップする	30

BLUETOOTH® 接続

モバイル機器を接続する	32
モバイル機器の接続を解除する	33
モバイル機器を再接続する	33
別のモバイル機器を接続する	34
サウンドバーのデバイスリストを消去する	34

AIRPLAYによる音楽のストリーミング再生

コントロールセンターから音楽をストリーミング再生する	35
アプリから音楽をストリーミング再生する	35

サウンドバーの状態

Wi-Fiの状態	36
Bluetoothの状態	36
音声アシスタントの状態	37
マイクオフインジケーター	37
メディアの再生と音量の状態	38
アップデートとエラーの状態	38

高度な機能

Wi-Fi機能のオン/オフを切り替える	39
---------------------------	----

BOSE 製品への接続

対応アクセサリ	40
Bose SoundLink <i>Bluetooth</i> speaker または Bose Noise Cancelling Headphones 700 を接続する	40
特長	40
対応製品	40
Bose Music アプリを使用して接続する	41
Bose SoundLink <i>Bluetooth</i> speaker または Bose Noise Cancelling Headphones 700 を再接続する	41

補足事項

サウンドバーをアップデートする	42
リモコンの電池を交換する	42
サウンドバーのお手入れについて	44
交換部品とアクセサリ	44
保証	44

トラブルシューティング

最初にお試しいただくこと	45
その他の対処方法	45
サウンドバーをリセットする	53

付録: セットアップガイド

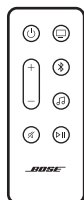
接続オプション	54
サウンドバーをテレビに接続する	55
オプション1: HDMI ARC 接続(ケーブル別売)	55
オプション2: 光デジタル接続	56
音が出ることを確認する	57

内容物

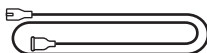
下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



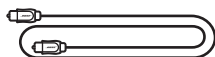
Bose Smart Soundbar 300



リモコン(電池付属)



電源コード*



光ケーブル

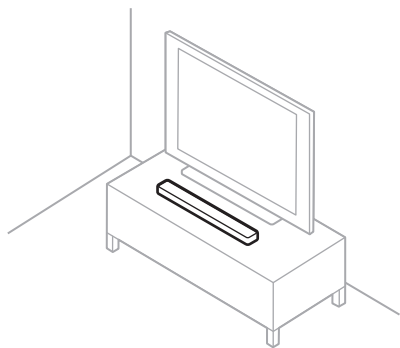
* 電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

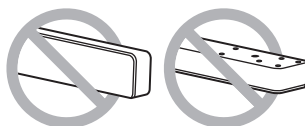
次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/Support/SB300

推奨事項

- サウンドバーは金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。
- サウンドバーは、グリルを部屋の中央に向けた状態で、テレビの真下(推奨)または真上に配置します。
- サウンドバーは、ゴムベース面を下にして安定した水平な面に設置してください。正しく設置するには、両側の足が台の上にとっかりと載っている必要があります。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でサウンドバーの位置がずれることがあります。
- サウンドバーを本棚やテレビ台などに置く場合は、最高の音質を得るために、できるだけ棚や台の前面に近づけてください。
- サウンドバーの背面を壁や家具などから1 cm以上離してください。背面にある開口部が塞がれると、音質が低下する恐れがあります。
- 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。
- ワイヤレス信号の干渉を回避するには、他のワイヤレス機器から30～90 cm以上離れた場所に設置します。
- 最高の音質をお楽しみいただくため、サウンドバーを戸棚の中に設置したり、お部屋の角に斜めに設置したりしないでください。
- サウンドバーの上には物を置かないでください。



注意: サウンドバーの前面や背面、または天面を下にした状態で使用しないでください。



サウンドバーを壁に取り付ける


サウンドバーは壁に取り付けることができます。Bose Soundbar Wall Bracketは、お近くのボーズ製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めいただけます。

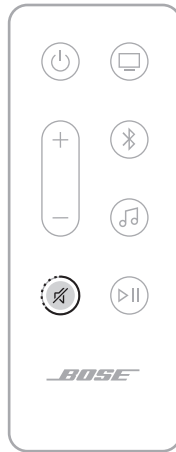
次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/Support/SB300

注意: 純正以外のアクセサリーを使用してサウンドバーを設置しないでください。

壁に取り付けた状態で音響特性を調整する

最高の音質をお楽しみいただくには、サウンドバーを取り付けた後でオーディオを調整する必要があります。

ビープ音が聞こえ、ライトバーが白で2回点滅するまで、リモコンのミュートボタン  を5秒間長押しします。

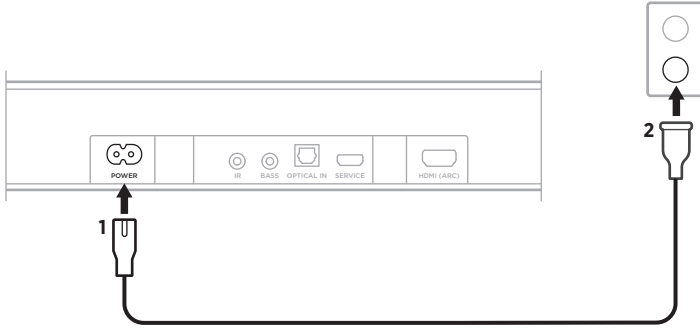


注: サウンドバーを壁から取り外した場合は、同じ操作を繰り返すと通常のオーディオ設定に戻ります。

ヒント: Bose Musicアプリを使用して、ウォールマウント用にオーディオを調整することもできます。

サウンドバーを電源に接続する



1. 電源コードをサウンドバーの背面にある**POWER**端子に接続します。
2. 電源コードの反対側を壁のコンセントに差し込みます。



サウンドバーの電源がオンになり、ライトバーがオレンジ色に点灯します。

ネットワーク待機状態

音楽の再生を停止してボタンを20分間操作しないと、サウンドバーがネットワーク待機状態になります。サウンドバーをネットワーク待機状態から復帰するには、次のいずれかの操作を行います。

- リモコンの電源ボタン 、ソースボタン(20ページを参照)、または再生/一時停止ボタン  (18ページを参照)を押します。
- モバイル機器またはBose Musicアプリでオーディオを再生または再開します。
- GoogleアシスタントまたはAmazon Alexaに話しかけます。

注:

- ネットワーク待機状態で音声アシスタントにアクセスするには、Bose Musicアプリ(16ページを参照)を使用してサウンドバーを設定し、マイクをオンしておきます(37ページを参照)。
- Bose Musicアプリを使用してスタンバイタイマーを無効にすることができます。このオプションは設定メニューから設定できます。

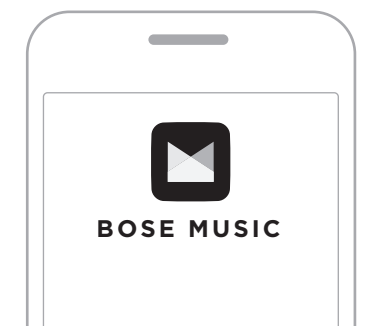
Bose Musicアプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からサウンドバーのセットアップや操作を行うことができます。

このアプリを使用して、音楽のストリーミング再生、プリセットの設定と変更、音楽サービスの追加、インターネットラジオ局の検索、GoogleアシスタントやAmazon Alexaの設定、音声ガイドの言語の選択、サウンドバーの設定の管理、新機能の適用を行うことができます。

注: 別のボーズ製品用のBose Musicアカウントを既に作成してある場合は、既存のアカウントにサウンドバーを追加します(17ページを参照)。

BOSE MUSICアプリをダウンロードする

1. モバイル機器でBose Musicアプリをダウンロードします。





2. アプリの手順に従ってください。

既存のアカウントにサウンドバーを追加する

1. Bose Music アプリを開きます。
2. メイン画面の + ボタンをタップします。
3. アプリの手順に従ってください。

別のWI-FIネットワークに接続する

ネットワーク名やパスワードを変更した場合や、他のネットワークに変更する、または追加する場合は、異なるネットワークに接続します。

1. ライトバーがオレンジに点灯するまで、ミュートボタン  と Bose Music アプリボタン  を同時に長押しします。



2. お使いのモバイル機器で、Wi-Fi設定を開きます。
3. **Bose Smart Soundbar 300** を選択します。
4. Bose Music アプリを開いて、アプリに表示される手順に従います。

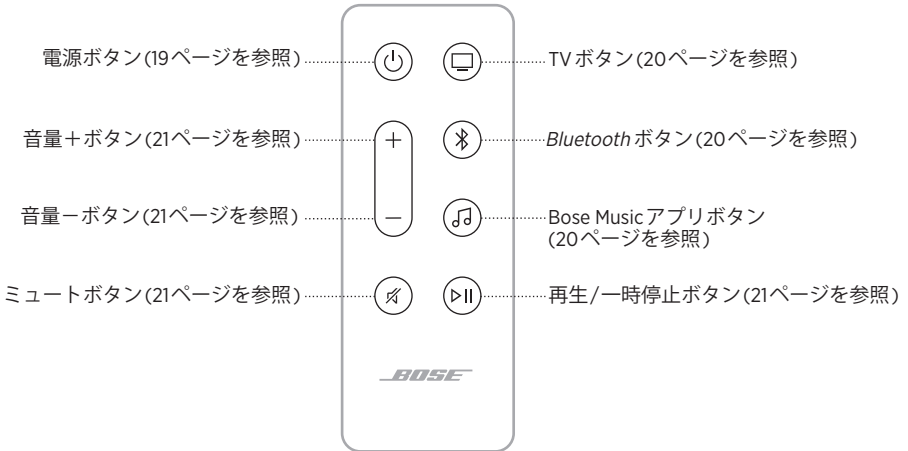
注: もしアプリでサウンドバーをセットアップする画面が表示されない場合は、メイン画面の + ボタンをタップして製品を追加します。

サウンドバーの操作は、サウンドバー天面のボタンとリモコンで行います。


ヒント: Bose Musicアプリを使用してサウンドバーを操作することもできます。

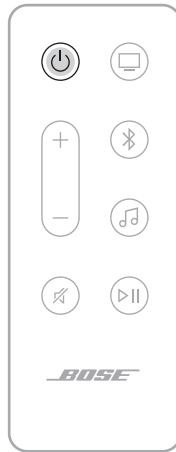
リモコンの機能

リモコンを使用して、サウンドバーとBluetooth接続機器の操作、Bose Musicアプリの操作を行います。




電源オン/オフ

サウンドバーの電源をオンまたはオフにするには、リモコンの電源ボタン  を押します。



サウンドバーの電源をオンにすると、最後に使用したソースになります。


注:

- サウンドバーを電源コンセントに接続すると、サウンドバーの電源が自動的にオンになります。
- 初めてサウンドバーの電源をオンにしたとき、サウンドバーのソースはTV  になります。
- サウンドバーの電源がオフになっていても、音声アシスタントにはアクセスできます。

ヒント: Voice4Video機能を使用して、サウンドバーの電源をオンまたはオフにすることもできます(30ページを参照)。

自動ウェイク機能(光デジタル接続のみ)




音声信号を受信するたびにサウンドバーの電源がオンになるように設定できます。

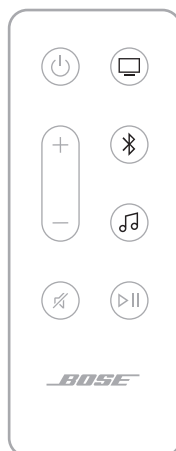
自動ウェイク機能とデフォルトの電源設定を切り替えるには、ビーブ音が聞こえ、ライトバーが白で2回点滅するまで、リモコンの  ボタンを5秒間長押しします。

ヒント: Bose Musicアプリを使用して、自動ウェイク機能の有効/無効を切り替えることもできます。このオプションは設定メニューから設定できます。

ソース機器

リモコンを使用して、テレビとBluetooth接続機器の操作、Bose Musicアプリの操作を行うことができます。

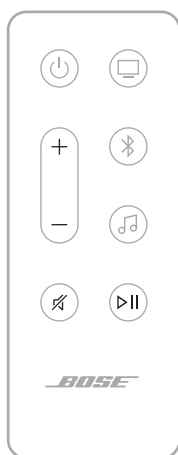
ソース機器を選択するには、リモコンの該当するボタン(TVボタン , Bluetoothボタン , またはBose Musicアプリボタン )を押します。



ヒント:

- Voice4Video機能を使用して、Bluetooth接続機器を選択することもできます(30ページを参照)。
- Bose Musicアプリを使用してソース機器を選択することもできます。


メディアの再生と音量調節

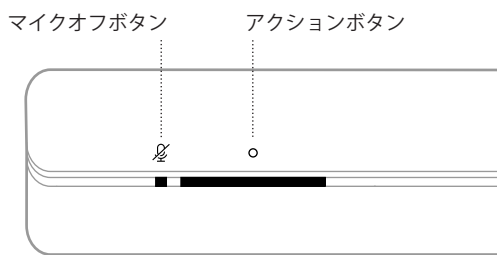


機能	操作方法
再生/一時停止	▶ ボタンを押します。 注: <ul style="list-style-type: none"> 一時停止すると、再生を再開するまでの間、ライトバーの両端が白に点灯します。 Bose Music アプリまたは Bluetooth 接続機器がソースの場合のみ、音楽の再生/一時停止が可能です。
トラック送り	▶ ボタンを続けて2回押します。
トラック戻し	▶ ボタンを続けて3回押します。
音量を上げる	+ ボタンを押します。 注: 音量をすばやく上げるには、+ ボタンを長押しします。
音量を下げる	- ボタンを押します。 注: 音量をすばやく下げるには、- ボタンを長押しします。
ミュート/ミュート解除ボタン	🔇 ボタンを押します。 ミュートすると、ミュート解除するまでの間、ライトバーの左端が白に点灯します。 ヒント: + ボタンを押して、ミュート解除することもできます。

ヒント: Voice4Video機能を使用して、特定ソースのメディアの再生と音量調節を行うこともできます(30ページを参照)。

音声アシスタントの操作

アクションボタン○とマイクオフボタンを使用して、Googleアシスタント(26ページを参照)またはAmazon Alexa(29ページを参照)を操作することができます。



低音を調整する

低音を調節するには、Bose Musicアプリを使用します。

ダイアログモード

ダイアログモードは、映画やテレビ番組、ポッドキャストなどの台詞やボーカルが明瞭になるように、サウンドバーのオーディオバランスを調整する機能です。

ダイアログモードを有効にするには、Bose Musicアプリを使用します。

注: ダイアログモードをオンにすると、別のソースに切り替えたり、サウンドバーの電源をオフにしたりしても、現在のソースに対してダイアログモードが有効のままになります。

他社製リモコンをプログラムする

CATV/BS/CS用チューナーのリモコンなど、他社製リモコンをプログラムして、サウンドバーを操作することができます。手順については、他社製リモコンの取扱説明書またはWebサイトをご覧ください。

プログラムが完了すると、電源のオン/オフや音量など、サウンドバーの基本的な機能を他社製リモコンで操作できるようになります。



注: すべての他社製リモコンがサウンドバーに対応しているわけではありません。他社製リモコンでサウンドバーを操作するには、リモコンがIR(赤外線)信号を送信できる必要があります。

音声アシスタントのオプション

Google アシスタントまたは Amazon Alexa にすばやく簡単にアクセスできるようにサウンドバーを設定することができます。

注:

- Google アシスタントと Amazon Alexa に同時にアクセスできるようにサウンドバーを設定することはできません。
- 一部の言語や国では Google アシスタントや Amazon Alexa を利用できません。

プログラムオプション	使用方法
Google アシスタント	話しかけるか、アクションボタン  を使います (25 ページを参照)。
Amazon Alexa	話しかけるか、アクションボタン  を使います (28 ページを参照)。

音声アシスタントのセットアップ

始める前に、モバイル機器とサウンドバーが同じ Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認してください。

音声アシスタントを設定するには、Bose Music アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

注:

- 音声アシスタントを設定するときは、Bose Music アプリで使用したのと同じ音楽サービスのアカウントを必ず使用してください。
- ご家庭に複数の Bose Music 製品がある場合は、音声アシスタントをどこでも利用できるように、すべての Bose Music 製品で 1 人の Bose Music アカウントと音声アシスタントのアカウントを使用して音声アシスタントを設定することをお勧めします。

GOOGLEアシスタントにアクセスする

サウンドバーにはGoogleアシスタントが搭載されており、自宅で簡単に音楽を楽しむことができます。ハンズフリーで、お気に入りの音楽を再生したり、音量を調節したり、聴いている曲の情報を検索したりできます。また、話しかけるだけで、その日の予定を立てたり、アラームを設定したり、家中のスマートデバイス进行操作したりすることもできます。最初に「OK Google」と呼びかけるか、アクションボタン○をタップするだけで、Googleアシスタントとの会話が始まります。

Googleアシスタントのできることの詳細については、次のサイトをご覧ください：
<https://support.google.com/assistant>

注:



- 一部の言語や国ではGoogleアシスタントを利用できません。
- Googleアシスタントで音楽を再生する方法については、27ページをご覧ください。

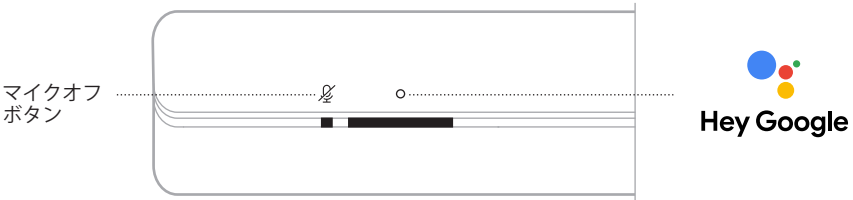
音声で操作する


最初に「OK Google」と呼びかけてから、リクエストを言います。

できること	呼びかけ方の例
エンターテインメントを楽しむ	音楽を再生して。
その日の予定を立てる	今日の予定を教えてください。
タスクの管理	明日は朝7時に起こして。
スマートデバイスを操作する	明かりを暗くして。
知恵を借りる	今週末の天気は？

サウンドバーの操作ボタンを使用する

アクションボタン  とマイクオフボタン  を使用して、Googleアシスタントを操作することができます。操作ボタンはサウンドバーの天面にあります。



できること	対処方法
Googleアシスタントに話しかける	○ ボタンを押して、リクエストを言います。 できることについては、次のサイトをご覧ください： https://support.google.com/assistant
アラームやタイマーを停止する	○ ボタンを押します。
Googleアシスタントを停止する	○ ボタンを押します。
マイクをオンまたはオフにする	 ボタンを押します。 注: マイクをオフにすると、マイクオフインジケータが赤に点灯し、Googleアシスタントにアクセスできなくなります。

GOOGLEアシスタントで音楽を再生する

Googleアシスタントに話しかけて、デフォルトの音楽サービスまたは特定の音楽サービスから音楽を再生できます。

最初に「OK Google」と呼びかけてから、リクエストを言います。

できること	呼びかけ方の例
音楽を再生する	音楽を再生して。 注: Googleアシスタントはデフォルトの音楽サービスを使用します。デフォルトの音楽サービスを変更するには、Googleアシスタントアプリを使用します。
スピーカーを操作する	音量を上げて。
特定の音楽サービスから再生する	TuneInでNPRラジオをかけて。 (音楽サービスによってはサービスしていない国や地域があります。) 注: Googleアシスタントがサポートしていない音楽サービスもあります。
特定のスピーカーで再生する	リビングのスピーカーでジャズをかけて。 注: Bose Musicアプリで設定したスピーカー名を必ず話してください。複数のスピーカーが同じ名前の場合は、Googleアシスタントアプリで設定した名前を使用するか、Bose Musicアプリで名前を変更します。

デフォルトの音楽サービスを選択する

Googleアシスタントの初期設定中に、Googleアシスタントアプリからデフォルトの音楽サービスの選択を求められます。Bose製品でGoogleアシスタントを使用する場合、サポートされているデフォルトのサービスはPandoraとSpotifyだけです。セットアップ中には他の音楽サービスもリストに表示されていますが、それらはサポートされていません。

デフォルトの音楽サービスには、PandoraまたはSpotifyを選択してください(音楽サービスによってはサービスしていない国や地域があります)。サポートされていない音楽サービスを選択した場合、音楽の再生をリクエストするとエラーメッセージが聞こえます。

AMAZON ALEXAにアクセスする

Alexaは、サウンドバーに話しかけて操作できるインテリジェントなクラウドベースの音声サービスです。Alexaにリクエストするだけで、音楽を再生したり、ニュースを聞いたり、タイマーを設定したり、スマートホームデバイス进行操作したりできます。Alexaはプライバシーを保護するようにも設計されており、Alexaアプリでいつでも音声リクエストの内容を確認して、削除することができます。

Alexaのできることの詳細については、次のサイトをご覧ください：

<https://www.amazon.com/usealexa>


注：一部の言語や国ではAlexaを利用できません。

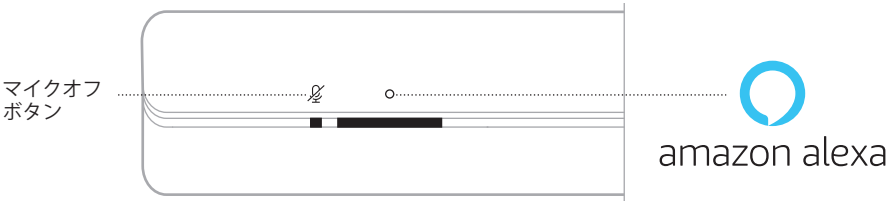
音声で操作する

最初に「アレクサ」と呼びかけて、次のように話しかけます。

できること	呼びかけ方の例
Alexaに話しかける	使い方を教えて。
音楽を再生する	ロックをかけて。 注： Amazon Musicがデフォルトの音楽サービスとして設定されています。デフォルトの音楽サービスを変更するには、Alexaアプリを使用します。
音楽を一時停止する	一時停止。
音量を調節する	音量アップ。
次の曲にスキップする	スキップ。
特定の音楽サービスから再生する	TuneInでNPRラジオをかけて。 (音楽サービスによってはサービスしていない国や地域があります。) 注： Amazon Alexaがサポートしていない音楽サービスもあります。
特定のスピーカーで再生する	キッチンでジャズをかけて。 注： Bose Musicアプリで設定したスピーカー名を必ず話してください。複数のスピーカーが同じ名前の場合は、Alexaアプリで設定した名前を使用するか、Bose Musicアプリで名前を変更します。
タイマーをセットする	タイマーを5分にセットして。
他のスキルを調べる	何が得意なの？
Alexaを停止する	ストップ。

サウンドバーの操作ボタンを使用する

Alexaを操作するには、アクションボタン○とマイクオフボタンを使用します。操作ボタンはサウンドバーの天面にあります。



できること	操作方法
Alexaに話しかける	○ ボタンを押して、リクエストを言います。 できることについては、次のサイトをご覧ください： https://www.amazon.com/usealexa
アラームやタイマーを停止する	○ ボタンを押します。
Alexaを停止する	○ ボタンを押します。
マイクをオンまたはオフにする	 ボタンを押します。 注: マイクをオフにすると、マイクオフインジケータが赤に点灯し、Alexaにアクセスできなくなります。

VOICE4VIDEOでオーディオをコントロールする

Bose Voice4Videoテクノロジーにより、Amazon Alexaの音声コントロール機能を拡張することで、他のサウンドバーでは不可能な機能が実現します。Smart Soundbarを操作するだけでなく、声だけでテレビやCATV/BS/CSチューナーを操作することができます。Alexaにリクエストを言うだけで、テレビやSmart Soundbarの電源をオンにしたり、ネットワーク名やチャンネル番号で選局したり、お気に入りの番組をすぐに見始めたりすることができます。Bose Voice4Videoを使えば、技術に詳しくない子供や高齢者でもエキスパートのように操作できるので、紛失しがちなリモコンや、リモコン操作の説明書は不要になります。

Voice4Videoをセットアップする

Voice4Videoをセットアップするには、Bose Musicアプリを使用します。

注: Voice4Videoをセットアップする前に、Bose MusicアプリでAlexaを設定する必要があります(24ページを参照)。

音声で操作する

最初に「アレクサ」と呼びかけて、次のように話しかけます。

できること	呼びかけ方の例
テレビの電源オン	テレビをつけて。
テレビの電源オフ	テレビを消して。
ビデオを再生する	再生。
ビデオを一時停止する	一時停止。
ビデオを再開する	再開。
ビデオを早送りする	早送り。
ビデオを巻き戻す	巻き戻し。
入力を <i>Bluetooth</i> オーディオに切り替える	<i>Bluetooth</i> に切り替え。
チャンネル名を指定して見る*	NFL ネットワークをつけて。
チャンネル番号を指定して見る*	チャンネル802をつけて。
次のチャンネルに送る*	次のチャンネル。
前のチャンネルに戻す*	前のチャンネル。

*CATV/BS/CSチューナーでのみ使用できます。

モバイル機器を接続する

1. リモコンのBluetooth ボタンを押します。



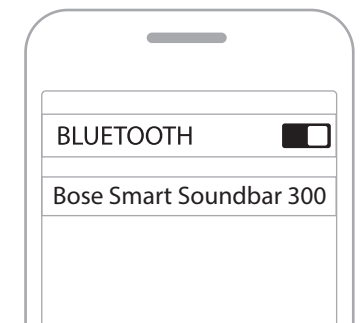
ライトバーが青に点滅します。

2. モバイル機器のBluetooth機能をオンにします。

注: 通常、Bluetoothメニューは設定メニューにあります。

3. デバイスリストからお使いのサウンドバーを選択します。

注: Bose Music アプリでサウンドバーに付けた名前を探してください。サウンドバーに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。



接続すると、ピープ音が聞こえ、ライトバーが白に点灯してから次第に消灯します。モバイル機器のリストにサウンドバーの名前が接続済みと表示されます。

モバイル機器の接続を解除する

モバイル機器の接続を解除するには、Bose Music アプリを使用します。

ヒント: モバイル機器の Bluetooth 設定を使用することもできます。Bluetooth 機能を無効にすると、他の機器との接続もすべて解除されます。

モバイル機器を再接続する

リモコンの Bluetooth ボタン ✱ を押します。

サウンドバーは、最後に接続していた機器に自動的に再接続します。

注:

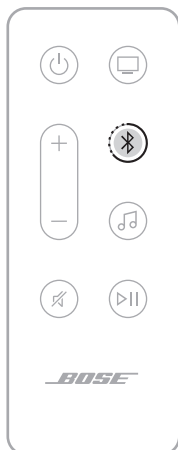
- モバイル機器の Bluetooth 機能が有効であることを確認します。
- 機器との距離が 9 m 以内で、電源がオンになっている必要があります。

別のモバイル機器を接続する

サウンドバーのデバイスリストには、機器を最大8台記憶できます。

注: ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。

1. ライトバーが青に点滅するまで、リモコンのBluetooth ボタン※を長押しします。



2. モバイル機器で、デバイスリストから本製品を選択します。

注: モバイル機器のBluetooth機能が有効であることを確認します。

サウンドバーのデバイスリストを消去する

1. ライトバーが白で2回点滅してから次第に消灯するまで、リモコンの※ ボタンを10秒間長押しします。

ライトバーが青に点滅します。

2. 機器のBluetooth リストからサウンドバーを削除します。


すべての機器が消去され、サウンドバーが新しい機器と接続可能な状態になります(32ページを参照)。

このサウンドバーはAirPlay 2オーディオの再生に対応しており、お持ちのApple製品からこのサウンドバーに音楽を簡単にストリーミング再生することができます。複数のスピーカーで再生することも可能です。


注:

- AirPlay 2を使用するには、iOS 11.4以降を実行しているApple製品が必要です。
- Apple製品とサウンドバーは同じWi-Fiネットワークに接続されている必要があります。
- AirPlayの詳細情報については、次のサイトをご覧ください：
<https://www.apple.com/airplay>

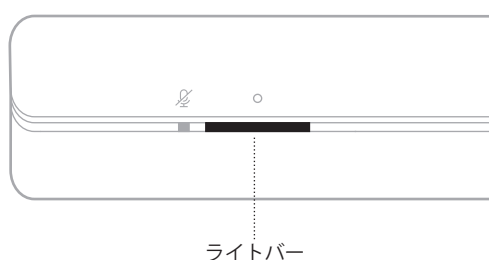
コントロールセンターから音楽をストリーミング再生する

1. Apple製品でコントロールセンターを開きます。
2. 画面の右上隅にあるオーディオカードを長押しして、AirPlayアイコン  をタップします。
3. サウンドバーを選択します。

アプリから音楽をストリーミング再生する

1. 音楽アプリ(Apple Musicなど)を開き、再生する曲を選択します。
2.  をタップします。
3. サウンドバーを選択します。

サウンドバーの前面にあるLEDライトバーには、サウンドバーの状態が表示されます。



注: ライトバーには1つの選択機器の状態のみ表示されます。

WI-FIの状態

サウンドバーのWi-Fi接続の状態を示します。

ライトバーの状態	システムの状態
白の点滅	Wi-Fiに接続中
白に点灯してから次第に消灯する	Wi-Fiに接続する場合






BLUETOOTHの状態

モバイル機器のBluetooth接続の状態を示します。

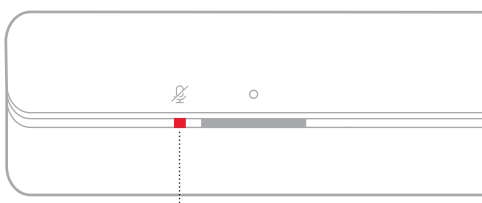
ライトバーの状態	システムの状態
青の点滅	モバイル機器に接続できません
白の点滅	モバイル機器に接続中
白に点灯してから次第に消灯する	モバイル機器に接続しました
白のライトが2回点滅してから消灯する	デバイスリストを消去中

音声アシスタントの状態

音声アシスタントの状態を示します。

ライトバーの状態		システムの状態
消灯		音声アシスタントはアイドル状態です
白のライトが中央に移動して点灯		音声アシスタントがリクエストを待っています
白のライトが両端に移動		音声アシスタントが考えています
白の点滅(フル)		音声アシスタントが話しています
黄色の点滅		音声アシスタントから通知があります

マイクオフインジケータ







マイクオフインジケータ

インジケータの状態	システムの状態
赤の点灯	マイクがオフです







メディアの再生と音量の状態

メディアの再生と音量を操作しているときのサウンドバーの状態を示します。



ライトバーの状態		システムの状態
中央の2つのライトが白で点灯		再生/一時停止
ライトバーの右端が白で点滅		音量を上げる
ライトバーの左端が白で点滅		音量を下げる
ライトバーの左端が白で点灯		ミュート

アップデートとエラーの状態

ソフトウェアのアップデート状態とエラーの警告を示します。

ライトバーの状態		システムの状態
オレンジの点灯		Wi-Fiセットアップを実行中です
白のライトが右から左へ移動		アップデートをダウンロードしています
白のライトが左から右へ移動		サウンドバーをアップデートしています
オレンジの4回点滅		ソースエラー、Bose Musicアプリを参照してください
赤の4回点滅		一時的にリクエストが受け付けられません。後でやり直してください
赤の点灯		エラー、Boseカスタマーサービスに連絡してください

WI-FI機能のオン/オフを切り替える

ライトバーが白で2回点滅してから次第に消灯するまで、リモコンのミュートボタンとBluetoothボタンを同時に長押しします。



対応アクセサリ

以下のアクセサリ機器をサウンドバーに接続することができます。詳細については、アクセサリ機器の取扱説明書をご覧ください。

- **Bose Bass Module 700:** worldwide.Bose.com/Support/BASS700
- **Bose Bass Module 500:** worldwide.Bose.com/Support/BASS500
- **Acoustimass 300 bass module:** global.Bose.com/Support/AM300
- **Bose Surround Speakers 700:** worldwide.Bose.com/Support/WSS700
- **Bose Surround Speakers:** worldwide.Bose.com/Support/WSS
- **Virtually Invisible 300 wireless surround speakers:**
global.Bose.com/Support/VI300

BOSE SOUNDLINK *BLUETOOTH* SPEAKER または BOSE NOISE CANCELLING HEADPHONES 700 を接続する

Bose SimpleSync テクノロジーにより、一部の Bose SoundLink *Bluetooth* speaker または Bose Noise Cancelling Headphones 700 をサウンドバーに接続して、新しい方法で音楽や映画を楽しむことができます。

特長

- **テレビの音をヘッドホンで楽しむ:** Bose Noise Cancelling Headphones 700 をサウンドバーに接続して、他の人に迷惑をかけずにテレビの音を聴くことができます。製品ごとの音量を個別に調節できるので、ヘッドホンの音量はそのままにして、サウンドバーの音量を下げたりミュートしたりできます。
- **別の部屋で音楽を同時に楽しむ:** Bose SoundLink *Bluetooth* speaker をサウンドバーに接続して、同じ曲を2つの部屋で同時に聴くことができます。

注: SimpleSync テクノロジーは、9 m の *Bluetooth* 通信範囲内で機能します。壁や建材の種類によって受信状態が変わる場合があります。

対応製品

ほとんどの Bose SoundLink *Bluetooth* speaker と、Bose Noise Cancelling Headphones 700 をサウンドバーに接続できます。

対応製品の例:

- Bose SoundLink Revolve+ *Bluetooth* speaker
- Bose SoundLink Mini *Bluetooth* speaker
- Bose SoundLink Color *Bluetooth* speaker
- Bose Noise Cancelling Headphones 700

新しい製品も随時追加されます。全製品のリストと詳細については、次のサイトをご覧ください。worldwide.Bose.com/Support/Groups

Bose Music アプリを使用して接続する

Bose SoundLink *Bluetooth* speaker または Bose Noise Cancelling Headphones 700 を接続するには、Bose Music アプリを使用します。詳しくは、次のサイトをご覧ください: worldwide.bose.com/Support/Groups

注:

- 接続する製品の電源がオンになっていて、サウンドバーから9 m以内にあり、他のデバイスに接続できる状態になっていることを確認してください。詳細については、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。
- サウンドバーと一度に接続できる製品は1台だけです。

BOSE SOUNDLINK *BLUETOOTH* SPEAKER または BOSE NOISE CANCELLING HEADPHONES 700 を再接続する

Bose SoundLink *Bluetooth* speaker または Bose Noise Cancelling Headphones 700 の電源をオンにします。

スピーカーやヘッドホンは、最後に接続していた *Bluetooth* 機器 (サウンドバーなど) への接続を試みます。

注:

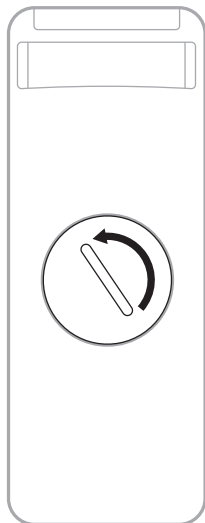
- サウンドバーが通信範囲内 (9 m) にあり、電源が入っている必要があります。
- スピーカーを接続できない場合は、「以前に接続されていた Bose SoundLink *Bluetooth* speaker とサウンドバーを再接続できない」(52 ページ) をご覧ください。
- ヘッドホンを接続できない場合は、「以前に接続されていた Bose Noise Cancelling Headphones 700 とサウンドバーを再接続できない」(52 ページ) をご覧ください。

サウンドバーをアップデートする

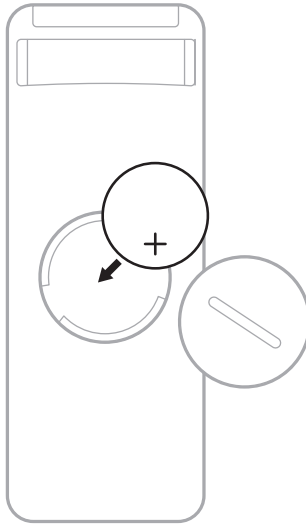
サウンドバーがBose Musicアプリに接続され、Wi-Fiネットワークに接続されている場合、サウンドバーは自動的にアップデートされます。

リモコンの電池を交換する

1. 硬貨などを使用して、電池カバーを左(反時計回り)に回し、カバーを取り外します。



2. +極の表示がある平らな面を上に向けて、新しい電池を装着します。



注: 法令（ULなど）に準拠した3Vリチウムボタン電池（CR2032またはDL2032）を使用してください。

3. カバーを元に戻し、右（時計回り）に回してロックします。

サウンドバーのお手入れについて

サウンドバーの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

注意:

- サウンドバーの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。
- システムに空気を吹き付けしないでください。
- システムに掃除機をかけないでください。
- システムの近くでスプレー等を使用しないでください。
- 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に異物が入り込まないようにしてください。

交換部品とアクセサリ

交換部品とアクセサリは、ボーズ製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください。 worldwide.Bose.com/Support/SB300

保証

製品保証の詳細は弊社Webサイトをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

最初にお試しいただくこと

サウンドバーに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。


- サウンドバーが接続されているコンセントに電源が供給されていることを確認します。
- すべてのケーブルをしっかりと接続します。
- サウンドバーの状態を確認します(35ページを参照)。
- サウンドバーを干渉源になるような電気製品(無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど)から30～90 cm以上離します。
- サウンドバーが正しく動作するように、無線ルーターやモバイル機器の推奨通信範囲内へ移動します。
- 設置ガイドに沿ってサウンドバーを設置します(13ページを参照)。

その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。


次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/contact

症状	対処方法
テレビにHDMI ARC端子や光デジタル音声端子がない	同軸デジタルケーブル、3.5 mmステレオ音声ケーブル、アナログ - ステレオケーブルなどを使用して、オーディオコンバーターを介してテレビを接続します(別途ご購入ください)。必要なコンバーターとケーブルの種類は、お持ちのテレビで使用できる音声出力端子の種類によって異なります。
サウンドバーの電源が入らない(電源を入れてもライトバーが点滅しない)	電源ケーブルを別のコンセントに差し込みます。 リモコンを使用してサウンドバーの電源をオンにします(19ページを参照)。 サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。
サウンドバーの電源がオフにならない	サウンドバーがネットワーク待機状態になっている可能性があります。リモコンの電源ボタンを押して、サウンドバーをアクティブにします。もう一度電源ボタンを押して、サウンドバーの電源をオフにします。
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	電池を交換します(42ページを参照)。 リモコンがサウンドバーの操作可能範囲内(6m以内)にあることを確認します。 リモコンとサウンドバーの間に障害物がないことを確認します。

症状	対処方法
<p>サウンドバーの音が途切れる、聞こえない</p>	<p>ライトバーの左端が白く点灯している場合、サウンドバーはミュートされています。ミュートボタン  を押して、サウンドバーをミュート解除します。</p> <p>お使いのモバイル機器がミュートされていないことを確認します。</p> <p>サウンドバーの音量(21ページを参照)またはモバイル機器の音量を上げます。</p> <p>別のソースに切り替えてみます(20ページを参照)。</p> <p>別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。</p> <p>Wi-Fiソースからのオーディオの場合は、ルーターをリセットします。</p> <p>モバイル機器を再起動します。</p> <p>対応しているBluetoothモバイル機器を使用していることを確認します。</p> <p>HDMIケーブルがテレビのHDMI ARC (Audio Return Channel) と表示されている端子に接続されていることを確認します。標準HDMI端子には接続しないでください。テレビにHDMI ARC端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーを接続します(56ページを参照)。</p> <p>サウンドバーがテレビのHDMI ARC端子に接続されている場合は、テレビのシステムメニューでConsumer Electronics Control (CEC)機能が有効になっていることを確認します。CEC機能はメーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>HDMIケーブルをテレビのHDMI ARC端子から取り外して、再度接続します。</p> <p>光デジタルケーブルをテレビの音声出力(OutputまたはOUT)端子に接続します。音声入力(InputまたはIN)端子には接続しないでください。</p> <p>サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。</p>
<p>サウンドバーとベースモジュールまたはサラウンドスピーカーを接続できない</p>	<p>サウンドバーが最新の状態であることを確認します(42ページを参照)。</p> <p>トラブルシューティングについては、ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの取扱説明書をご覧ください(40ページを参照)。</p> <p>ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーがサウンドバーに対応していることを確認します(40ページを参照)。</p> <p>サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、電源コンセントにしっかりと差し込みます。</p>

症状	対処方法
<p>ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーから音が聞こえない</p>	<p>サウンドバーが最新の状態であることを確認します(42ページを参照)。</p> <p>ベースモジュールまたはサラウンドスピーカーがサウンドバーに対応していることを確認します(40ページを参照)。</p> <p>Bose Music アプリでソフトウェアが最新のものであることを確認します。</p> <p>Bose Music アプリを使用して低音を調整します(22ページを参照)。</p> <p>別のソースに切り替えてみます(20ページを参照)。</p>
<p>テレビから音が出る</p>	<p>HDMI ケーブルがテレビの ARC (Audio Return Channel) と表示されている端子に接続されていることを確認します。テレビに HDMI ARC 端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーを接続します(56ページを参照)。</p> <p>テレビの内蔵スピーカーをオフにします。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>サウンドバーがテレビの HDMI ARC 端子に接続されている場合は、テレビのシステムメニューで Consumer Electronics Control (CEC) 機能が有効になっていることを確認します。CEC 機能はメーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>HDMI ケーブルをテレビの HDMI ARC 端子から取り外して、再度接続します。</p> <p>テレビの音量を最小に設定します。</p> <p>HDMI ケーブル(55ページを参照)と光デジタルケーブル(56ページを参照)を両方使用してサウンドバーに接続します。</p>
<p>音質が良くない、音が歪む</p>	<p>別のソース機器で試してみます(可能な場合)。</p> <p>テレビがサラウンドサウンド出力に対応していることを確認します。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>別の機器からオーディオが再生されている場合は、その機器の音量を下げます。</p> <p>Bose Music アプリを使用して低音を調整します(22ページを参照)。</p> <p>テレビの内蔵スピーカーをオフにします。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>サウンドバーが壁に取り付けられている場合は、オーディオを調整します(14ページを参照)。</p>
<p>サウンドバーで正しいソース機器からの音が再生されない、またはしばらくしてから正しくないソース機器に切り替わる</p>	<p>Bose Music アプリを使用して、CEC 機能を「Alternate On (個別指定)」に設定します。</p> <p>ソース機器の CEC 機能を無効にします。接続機器の取扱説明書をご覧ください。</p> <p>HDMI ケーブル(55ページを参照)と光デジタルケーブル(56ページを参照)を両方使用してサウンドバーに接続します。</p>

症状	対処方法
<p>サウンドバーをWi-Fiネットワークに接続できない</p>	<p>サウンドバーがBose Musicアプリを使用して設定されていることを確認します(16ページを参照)。</p> <p>Bose Musicアプリで、正しいネットワーク名を選択して、ネットワークのパスワードを入力します(大文字と小文字を区別して入力してください)。</p> <p>サウンドバーとモバイル機器が同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。</p> <p>ネットワークの設定情報を変更した場合は、17ページをご覧ください。</p> <p>セットアップに使用するモバイル機器のWi-Fi機能を有効にします。</p> <p>モバイル機器で開いている他のアプリケーションを終了します。</p> <p>モバイル機器とルーターを再起動します。</p> <p>ルーターが2.4GHz帯と5GHz帯の両方に対応している場合は、機器(モバイル機器やパソコン)とサウンドバーが同じ周波数帯を使用して接続していることを確認します。</p> <p>注: 各周波数帯に固有の名前を付けて、正しい周波数帯に接続していることを確認してください。</p> <p>ルーターをリセットします。</p> <p>サウンドバーとオプションのベースモジュールまたはサラウンドスピーカーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、電源コンセントにしっかりと差し込みます。モバイル機器でBose Musicアプリをアンインストールして再インストールし、セットアップをやり直します。</p>
<p>サウンドバーをモバイル機器に接続できない</p>	<p>リモコンのBluetoothボタンを長押しして、サウンドバーの接続準備ができていることを確認します。</p> <p>モバイル機器で位置情報サービスがオンになっていることを確認します。</p> <p>モバイル機器のBluetooth機能をオフにしてから、オンにします。Bluetoothリストからサウンドバーを削除します。もう一度接続してみます(34ページを参照)。</p> <p>別のモバイル機器と接続して試してみてください(34ページを参照)。</p> <p>対応しているBluetoothモバイル機器を使用していることを確認します。</p> <p>モバイル機器のBluetoothリストからサウンドバーを削除します。もう一度接続してみます(34ページを参照)。</p> <p>サウンドバーのデバイスリストを消去します(34ページを参照)。もう一度接続してみます(32ページを参照)。</p>

症状	対処方法
<p>AirPlayを使用して音楽をストリーミング再生できない</p>	<p>サウンドバーの電源がオンになっていて、通信範囲内にあることを確認します(19ページを参照)。</p> <p>Apple製品とサウンドバーが同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。</p> <p>Apple製品をアップデートします。</p> <p>サウンドバーが最新の状態であることを確認します(42ページを参照)。</p> <p>ストリーミング再生する音楽アプリでAirPlayアイコン  が見つからない場合は、コントロールセンターから音楽をストリーミング再生してください。</p> <p>その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください： https://www.apple.com/airplay</p>
<p>モバイル機器でBose Musicアプリが動作しない</p>	<p>お使いのモバイル機器がBose Musicアプリに対応しており、システム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、モバイル機器のアプリストアをご参照ください。</p> <p>モバイル機器でBose Musicアプリをアンインストールしてから、アプリを再インストールします(16ページを参照)。</p>
<p>別のBoseアカウントに追加する際にサウンドバーが表示されない</p>	<p>Bose Musicアプリを使用して、サウンドバーの共有が有効であることを確認します。</p> <p>サウンドバーとモバイル機器が同じWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。</p>

症状	対処方法
<p>Google アシスタントが反応しない</p>	<p>マイクオフインジケーターが赤に点灯していないことを確認します。マイクをオンにするには、26ページをご覧ください。</p> <p>Google アシスタントが Bose Music アプリを使用して設定されていることを確認します (24 ページを参照)。</p> <p>注: Bose Music アプリを使用してサウンドバーを設定し、Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります。</p> <p>モバイル機器を Wi-Fi に接続します。</p> <p>Google アシスタントが利用可能な国にいることを確認します。</p> <p>最新バージョンの Google アシスタントアプリを使用していることを確認します。</p> <p>音声による起動が有効であることを確認します (25 ページを参照)。</p> <p>お使いのモバイル機器が対応していることを確認します。</p> <p>Bose Music アプリを使用して、サウンドバーから Google アシスタントを削除します。もう一度 Google アシスタントを追加します。</p> <p>デフォルトの音楽サービスとして、Pandora または Spotify を選択します (27 ページを参照)。</p> <p>Bose Music アプリと Google アシスタントアプリでは、必ず同じ音楽サービスのアカウントを使用してください。</p> <p>Google アシスタントがリクエストをサポートしていない場合があります。新しい機能も随時追加されます。</p> <p>その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください: https://support.google.com/assistant</p>
<p>Google アシスタントのアカウントに基づく情報の設定を変更する</p>	<p>アカウントに基づく情報を無効にしたり、使用するアカウントを変更したりするには、Google アシスタントアプリの [設定] メニューを使用します。</p>

症状	対処方法
<p>Alexaが反応しない</p>	<p>マイクオフインジケーターが赤に点灯していないことを確認します。マイクをオンにするには、29ページをご覧ください。</p> <p>AlexaがBose Musicアプリを使用して設定されていることを確認します(24ページを参照)。</p> <p>注: Bose Musicアプリを使用してサウンドバーを設定し、Wi-Fiネットワークに接続する必要があります。</p> <p>モバイル機器をWi-Fiに接続します。</p> <p>Amazon Alexaが利用可能な国にいることを確認します。</p> <p>最新バージョンのAmazon Alexaアプリを使用していることを確認します。</p> <p>お使いのモバイル機器が対応していることを確認します。</p> <p>音声による起動が有効であることを確認します(28ページを参照)。</p> <p>Bose Musicアプリを使用して、サウンドバーからAlexaを削除します。もう一度Alexaを追加します。</p> <p>Bose Musicアプリで設定した名前を言っていることを確認します。複数のサウンドバーが同じ名前の場合は、Alexaアプリで設定した名前を使用するか、Bose Musicアプリで名前を変更します。</p> <p>Voice4Videoを使用している場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> サウンドバー、テレビ、CATV/BS/CSチューナーの間に障害物がないことを確認します。 サウンドバーがHDMIケーブルで接続されていることを確認します(55ページを参照)。 Bose Musicアプリを使用してこの機能を設定し、テレビやCATV/BS/CSチューナーが接続されていることを確認します。 郵便番号とCATV/BS/CSチューナーのサービスプロバイダが入力されていることを確認します。 <p>Alexaがリクエストをサポートしていない場合があります。新しい機能も随時追加されます。</p> <p>その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください。 https://www.amazon.com/usealexa</p>
<p>サウンドバーとBose SoundLink Bluetooth speakerまたはBose Noise Cancelling Headphones 700を接続できない</p>	<p>スピーカーやヘッドホンの電源がオンになっていて、サウンドバーから9m以内にあり、他のデバイスに接続できる状態になっていることを確認してください。詳細については、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。</p>

症状	対処方法
<p>以前に接続されていた Bose SoundLink Bluetooth speaker とサウンドバーを再接続できない</p>	<p>スピーカーで、製品コントロールを使用して、サウンドバーの名前が聞こえるまで製品のデバイスリストを順に切り替えます。具体的な製品に関する説明については、スピーカーの取扱説明書をご覧ください。</p>
<p>以前に接続されていた Bose Noise Cancelling Headphones 700 とサウンドバーを再接続できない</p>	<p>Bose Music アプリを使用して接続します。このオプションは設定メニューから設定できます。</p>
<p>接続した Bose SoundLink Bluetooth speaker や Bose Noise Cancelling Headphones 700 から音が遅れて再生される</p>	<p>一部の Bose SoundLink <i>Bluetooth speaker</i> では、サウンドバーに接続して完璧に同期した状態でオーディオを再生できない場合があります。お使いの製品が対応しているかどうかを確認するには、次のサイトをご覧ください。 worldwide.bose.com/Support/Groups</p> <p>スピーカーやヘッドホンのソフトウェアアップデートがあればインストールします。アップデートを確認するには、モバイル機器で製品に該当する Bose アプリを開くか、パソコンから btu.bose.com にアクセスします。</p>

サウンドバーをリセットする

工場出荷時の設定に戻すと、サウンドバーのソース機器、音量、ネットワーク設定などがすべて消去され、出荷されたときの設定に戻ります。

1. ライトバーが白で2回点滅してから次第に消灯するまで、リモコンの音量-ボタンと再生/一時停止ボタン▶||を同時に5秒間長押しします。



サウンドバーが再起動します。リセットが完了すると、ライトバーがオレンジ色に点灯します。

2. サウンドバーのネットワーク設定とオーディオ設定を元に戻すには、以下の手順に従います。
 - a. モバイル機器でBose Musicアプリを起動し、サウンドバーをネットワークに追加します(「既存のアカウントにサウンドバーを追加する」(17ページ)を参照)。
 - b. サウンドバーが壁に取り付けられている場合は、ウォールマウント用にオーディオを調整します(14ページを参照)。

接続オプション

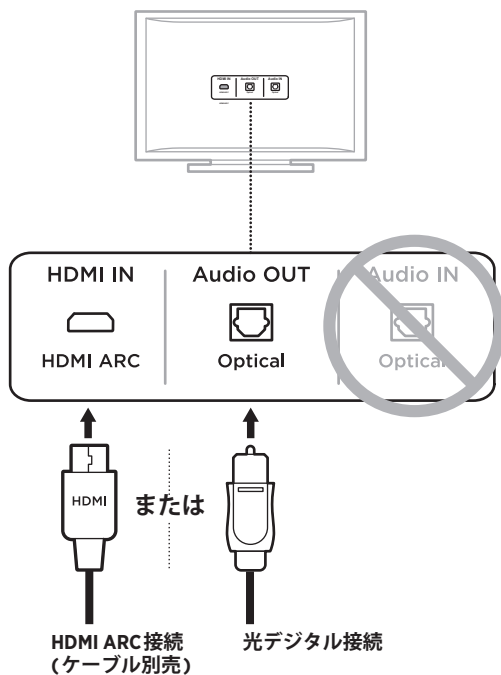
以下の接続オプションからどちらかを選択して、テレビとサウンドバーを接続します。

- **オプション1:** HDMI ARC 接続(ケーブル別売)
- **オプション2:** 光デジタル接続

注: テレビのHDMI ARC (Audio Return Channel)端子を使用すると、テレビのリモコンを使用して、サウンドバーの電源、音量、ミュート機能を操作できます。

1. テレビの背面にある**HDMI IN**端子および**Audio OUT** (光デジタル)端子を探します。

注: お使いのテレビによっては、端子パネルが図と異なる場合があります。端子の形状で確認してください。



2. 音声ケーブルを選択します。

サウンドバーをテレビに接続する

音声ケーブルを選択したら、サウンドバーとテレビを接続します。

オプション1: HDMI ARC接続(ケーブル別売)

1. HDMIケーブルをテレビの**HDMI ARC**端子に接続します。

注: HDMIケーブルはテレビのHDMI ARC端子に差し込んでください。標準のHDMI端子には接続しないでください。お持ちのテレビにHDMI ARC端子が無い場合は、56ページをご覧ください。

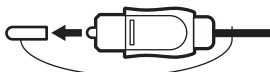
2. ケーブルの反対側を、サウンドバーの**HDMI (ARC)**端子に差し込みます。



オプション2: 光デジタル接続

お持ちのテレビにHDMI ARC端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してサウンドバーとテレビを接続します。

1. 光ケーブル両端のプラグから保護キャップを取り外します。

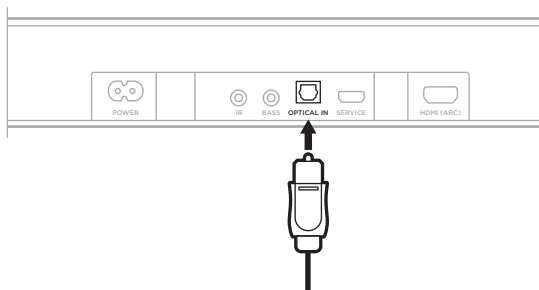


注意: キャップを付けたままプラグを差し込むと、プラグや端子が破損する恐れがあります。

2. 光ケーブルのプラグをテレビの**OPTICAL OUT** (光デジタル音声出力)端子に接続します。

注意: プラグの向きを間違えて差し込むと、プラグや端子が破損する恐れがあります。

3. 光ケーブルの反対側のプラグを持ちます。
4. プラグの向きをサウンドバーの**OPTICAL IN**端子に合わせて慎重に差し込みます。




注: 端子にはカバーが付いていて、プラグを差し込むとカバーが開きます。

5. カチッと言う音が聞こえるか、指先に感触があるまでプラグをしっかりと差し込みます。



音が出ることを確認する

注：音響パフォーマンスを十分にお楽しみいただくためには、テレビの内蔵スピーカーをオフにしてください。詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

1. テレビの電源をオンにします。
2. CATV/BS/CS用チューナーやその他の外部機器を使用する場合：
 - a. ソース機器の電源をオンにします。
 - b. テレビの入力を正しく選択します。
3. サウンドバーの電源をオンにします(19ページを参照)。
ソース機器の音がサウンドバーから聞こえます。
4. サウンドバーのリモコンのミュートボタン  を押します。
テレビの内蔵スピーカーやサウンドバーから音が聞こえなくなります。

注：サウンドバーをミュートしてもテレビの内蔵スピーカーから音が聞こえる場合は、「トラブルシューティング」(45ページ)をご覧ください。



858459-0010